

議会だより せら

～ あなたと議会のコネクトブック ～

2026

8.15

No.86

38 (25%)

答えは
2ページに

151人

トピック P2 特集 ケアマネジャー
介護現場で何が？

将来、介護を受けたくても受けられない？

～介護現場で、なり手不足が課題に～

※ケアマネジャーは以下
「ケアマネ」と表記

高齢化が進む中、介護サービスを支えるケアマネの不足が全国的な課題となっています。

そこで、世羅町におけるケアマネを取り巻く現状や業務負担の実態など、町内のケアマネ事業者から聞き取り調査を実施しました。そこで現場が抱えるさまざまな課題や、将来を見据えた人材確保・育成に向けた取組の方向性が見えてきました。

38 (25%)
151人

【数字の深掘り】151人は世羅町における資格取得者です。仕事を辞めたり、資格のみを取得した人も含まれます。施設勤務者を含む町内勤務者は38人（居宅介護支援事業所21人）です。資格取得者に比べて従事者が少ないことがわかります。
(出典)令和7年10月末時点 町内ケアマネジャー登録データ（広島県介護政策課）

ケアマネの役割

ケアマネ（介護支援専門員）は、介護が必要な方やその家族の相談を受け、自立した生活が続けられるように、一人ひとりに合った介護サービスを利用できるよう支援します。

主な役割

- **ケアプランの作成：**
利用者の状態や希望に応じて介護サービス計画を作成
- **サービス事業者との調整：**
訪問介護、デイサービス、福祉用具などの利用を調整
- **利用状況の確認：**
定期的に自宅を訪問し、状況を確認
- **相談対応：**
利用者や家族の悩みや困りごとに対応

シャドーワークが負担増の要因に

- 医療機関への受診や付き添い、薬の受け取り
- 買物、食事の準備、部屋の片づけ、ゴミ出し
- ペットの対応 など

※シャドーワークとは
本来の業務以外に、
利用者や家族を支
えるため担ってい
る業務

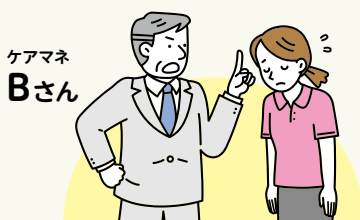


現場の 声

制度外の相談や緊急対応も多く、業務負担は年々増加しています。



善意で対応しても苦情につながるケースもあり、精神的消耗が大きい。



ケアマネ資格を持っていても、更新や負担を考えて別職種を選ぶ人もいます。



このままケアマネ不足が進むと



何故？

資格保有者が多い一方で、働いている人が少ない

原因は
大きく
4つ



① 処遇の問題
給与・評価

② 業務負担の問題
書類作成
件数負担・責任

③ 職場環境の問題
人員不足・孤立
育成不足

④ 制度の問題
介護保険制度の
複雑さ
研修・更新負担

現場に戻ってもらうための方策は！

- ① ICT・AIによる事務負担(書類作成など)の軽減
- ② 給与など処遇改善
- ③ 業務と業務外(シャドーワーク)の整理
- ④ 研修や職場体験などの復職支援
- ⑤ メンタルヘルス対策や柔軟な勤務形態など働きやすい職場づくり

今後の町の取組みは

町も、10年以内には、ケアマネの担い手は急激に減少していくことを懸念しており、ICT活用による業務効率化や資格取得支援、実務者研修の実施などを通じて、若手人材の確保に取組む考えを示しました。

ケアマネの魅力(やりがい)とは



「相談して良かった」など、利用者や家族から感謝されること



住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、その人らしい生活を支えられること



知識、相談援助技術などを活かしながら、専門性を発揮し続けられること

縁石の土砂撤去は進んだのか

昨年3月議会で道路沿いの雑草問題の根本対策として「縁石付近にたまった土砂の撤去」を提案しました。
1年後の取組み状況を追跡しました。



土砂が溜まっていない状況

その後の町の取組みは

提案から1年、交通量の多い幹線道路を中心に4,770mの土砂を撤去

町道三原中島線	2,600m
町道前山家線	800m
町道前山家支線	500m
国道432号	660m
(主)世羅甲田線	210m
合 計	4,770m

町道の防草コンクリート施工延長

道路改良工事	312m
維持工事	148m

検 証 ①



昨年土砂撤去が行われた町道三原中島線

検証結果

昨年秋、機械による土砂撤去を実施しているが、すでに亀裂に入り込んだ草の根は除去できず再び草が伸びています。コンクリートブロックの構造上の問題もあり、舗装表面の土砂撤去だけでは根本解決に至らないことがわかりました。

検 証 ②



防草コンクリートによる雑草対策

検証結果

道路維持工事に伴ない法面の強度確保も考慮し、防草コンクリートを施工しています。

草刈り作業が大幅に軽減されています。

今後の町の取組みは

町は「土砂撤去だけで雑草を完全になくすことは難しい」としながらも、土砂の堆積が著しい箇所については継続的に対応する考えを示しました。

また、県では路面清掃や除草対策を含めた新たな管理方法の検討も進められています。

議員コメント

町の財源にも限りがあり、現在は県の改善策を待っている状況です。しかし、住民の高齢化や担い手不足は今後も続く見込みです。町の景観を維持していくには、県・町による新たな対策に加え、引き続き住民の皆さんとの協働・参加が必要であると実感しました。



路側の土砂を回転ブラシで取り除く車両

請 願
第4号

尾道ナンバー導入に関する請願

提出者 世羅郡世羅町西上原
世羅町商工会会長 玉浦 洋明
紹介議員 松尾 陽子



賛成多数により
採 択

画像はイメージです

請願の趣旨

世羅・尾道圏域の地域振興・観光振興につなげるために、この地域の「尾道ナンバー」導入に向けて取組むこと。図柄については、世羅町の意向が反映されたものとなるよう町主導で検討されることを前提に、尾道市と協議を進めることを求めるもの。

委員の意見

- 県内で広島市に次ぐ高い観光力を持つ尾道市と連携することは、世羅町の将来の観光振興において重要である。
- 町内ではあまり賛成意見を聞かない。尾道市民が世羅町主導のデザインを理解し、受け入れるのか疑問である。

委員会審査の結果

賛成2：反対3により、不採択すべきものとした。

本会議での最終結果

賛成7：反対4 賛成多数により「採択」とすることに決した。

賛 成 討 論

本請願は、単なるナンバープレートの名称変更ではなく、将来を見据えた地域の発展と、全国的な尾道ブランド力を生かして地域活性化をめざす提案です。人口減少が進む中、将来への投資としての意義があり、地域経済を支える商工会の意思を尊重するとともに地域の将来を考える契機となることから、本請願に賛成します。

陳 情
第3号



奥側が陳情があった未改良道路

町道福田福井線 道路拡幅要望

提出者 世羅郡世羅町山福田
福田地域要望者代表 栗原 茂美 外19人

賛成少数により
不 採 択

陳情の趣旨

町道福田福井線は、救急救命・災害・通学バスの運行などへの重要な路線である。合併前の改良済み区間を除く約600mの区間は、道路幅員が狭く区間の拡幅改良、待避所の整備が必要であり、早急な取組みを求めるもの。

委員の意見

道路の全線拡幅は、地形上の制約から多額の費用を要するため、離合困難箇所への待避所整備やガードレール設置など、現実的な安全対策を優先して進めるべき。

委員会審査の結果

賛成2：反対3により、不採択すべきものとした。

本会議での最終結果

賛成3：反対8により「不採択」とすることに決した。



道の駅世羅 拡充整備事業を現地で確認

6月15日、道の駅世羅(大字川尻)において、駐車場拡張及びイベントスペースの計画位置を現地調査しました。大屋根の建設予定地では、大きさ・形状・向きについて執行部から説明を受けました。



大型車両専用駐車場の場所を確認する委員の様子

産業建設
常任委員会

総事業費 4 億 9,800 万円。地域未来交付金および過疎債を活用し、町の実質負担を抑えながら整備が進む計画です。

町が説明した整備内容(案)

- 1. 大型駐車場の移設**
約10台分を移設し、その跡地を普通駐車場として活用。
- 2. 駐車場利便性の向上**
現在は入口と出口が同じため、混雑しやすい状況にある。整備後は出入口を分け、車の流れを改善する計画。
- 3. 大屋根の設置**
現在、自動販売機などが設置されている場所に、大屋根を整備。休憩スペースやイベントスペースとして活用し、強い日差しや雨を防ぐ計画。
- 4. 新たな特産品開発(ソフト事業)**
世羅ならではの高付加価値商品や、手軽なお土産品を開発し、販売促進を進める計画。

事業費内訳	
拠点整備事業	4 億 7,300 万円
ソフト事業(必須要件)	2,500 万円
合計	4 億 9,800 万円

財源内訳	
国費(地域未来交付金)	2 億 4,900 万円
過疎債	2 億 4,900 万円
ト国費(交付税措置)	1 億 7,430 万円
㊦町の実質負担	7,470 万円
合計	4 億 9,800 万円

委員コメント

駐車場の確保は喫緊の課題です。全体の事業費は大きいものの、国費補助の活用で町の負担は抑えられています。大屋根の設置で、飲食スペースの確保や暑さ対策にもつながります。今後の設計や予算の推移に注視してまいります。



委員コメント

総事業費は約5億円と説明されましたが、現時点では概算額です。地域経済や観光振興への効果と財政負担の両面を踏まえ、今後の事業内容を引き続き確認していきます。



保健福祉センター プライバシー配慮の状況を調査

総務文教
常任委員会

6月16日、保健福祉センター（大字本郷）において、相談業務などのプライバシー配慮の状況を現地調査しました。相談室の運用状況や使用件数、施設拡張計画の進み具合を確認しました。



開放的だが相談内容が周囲に聞こえやすく工夫が必要な窓口



相談室の様子

個室の相談室は2カ所で、いずれも予約制で運用されています。昨年度の保健福祉センター全ての部屋の使用件数は818件にのぼり、うち相談室の使用は340件でした。

相談件数が増える中、プライバシーを気にして、本当に相談したいことが相談できないという声もあがっています。

相談室の増設などを目的とした施設の拡張計画は、国の補助金が確保できず、中断しています。

委員からの質問

Q プライバシー保護の観点から、相談者の情報共有はどこまでされているのか。

A 担当者など、必要最小限にとどめている。

Q 既存の設備を利用して、プライバシーに配慮した改良はできないか。

A 撤去や再利用が可能な資材で、ブースを設置できないか検討したい。

議員のためのA I 活用研修を実施

議会改革調査
特別委員会

6月17日、「議員のためのA I 活用研修～知る・使う・活かす～」と題する議員研修を実施しました。



A I 活用を推奨する副委員長

佐倉副委員長が講師を務め、A I をどう議員活動に活かすか。基礎から応用までを実践的に学びました。

入門編として、プロンプト（指示文）の書き方、会議録の要約などのA I の基礎、応用編として議会だよりの原稿作成、予算の分析など具体的な議員活動への活用方法について学びました。

今後もA I 活用について研修の機会を設けることを決定しました。

委員コメント

A I は、私には難しすぎて使えないと諦めていました。しかし、丁寧に解説してもらったお陰で「まずは使ってみよう」と思い、報告書の作成に挑戦しました。あっという間に作成してくれて、手軽さと速さに驚きました。

これからも積極的に活用したいと思います。



真剣に講義を聞く委員たち

議案 財産の取得について 第35号

原案可決

- タブレット型端末 1,043台（うち予備機133台）
- 端末管理ソフトライセンス 1,043台分
- 取得価格 約5,737万円（うち消費税額約522万円）
- 落札者 (株)大塚商会 広島支店

調達理由 令和2年度に整備した端末が今年度で6年が経過することから、補助金や起債の有利な財源を活用し、小・中学校全ての児童生徒分について更新整備します。



Q 古いタブレットの対応は。

A 現在使っている約1,100台のうち、約150台は予備機として保管し、残りはデータを完全に消去したうえで、専門業者で適切に処分する。

Q 今回は予備機を133台調達しているが、前回の故障率は。

A 20.2%発生している。授業に必要なため、故障した場合予備機で対応している。

議案 世羅町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 第36号

原案可決

内 容 国の法律改正に合わせて、子ども・子育て支援金に関する規定を追加するため、条例を改正しました。

- ①子ども・子育て支援金が新たに創設され、保険税に加わります。
- ②低所得世帯への5割・2割軽減の所得基準を引き上げ、軽減対象を広げました。

議案 一般会計補正予算（第1号） 第37号

原案可決

世羅中央病院企業団支援金

内 容 原油価格・物価高騰による光熱費や食材費などの高騰の影響を緩和するため、影響額の一部を補助します。

支援額 約356万円

財 源 物価高騰対応重点支援
地方創生臨時交付金（国費）

算定根拠 広島県が民間医療事業者に対して実施している補助事業との均衡を図るため、広島県補助額を参考としました。

生活保護法による扶助

内 容 生活保護基準引き下げを違法とした最高裁判決を受け、対象者に追加給付を行います。

給付額 約737万円

Q 増額の内容と対象者は。

A 現受給世帯の30世帯と、既に保護廃止となった89世帯の計119世帯を見込んでいます。現受給世帯には支給日に合わせて給付し、廃止世帯については、広報誌やホームページで周知し、申請により給付する。

議案

第39号 第40号 第41号

財産の取得について

- 小型動力ポンプ付積載車
(オートマ消防車)
- 3台の購入 (普通車2台、軽自動車1台)
総額約3,483万円

※オートマ車での免許取得者が増加しているため、今回からオートマ車を導入しました。



狭い道でも入っていける軽自動車タイプの消防車

人 事

第2回定例会

農業委員会委員の任命を同意しました。

任期：令和8年7月20日～令和11年7月19日まで

鈴木 義昭 さん〔小世良〕
兼国 幸秀 さん〔宇津戸〕
上野 悟 さん〔本郷〕
内海 武博 さん〔赤屋〕
日南田 貴美 さん〔黒淵〕
石井 裕士 さん〔賀茂〕
作田 博 さん〔重永〕

下光 久紀 さん〔津口〕
桜井 陽子 さん〔小谷〕
得納 逸二 さん〔安田〕
東 多美子 さん〔下津田〕
安井 弘之 さん〔黒川〕
立石 浩一 さん〔中原〕
折元 文則 さん〔小国〕

※受付順

農業委員会は、「農業委員会等に関する法律」に基づき市町村に設置されており、農業委員と農地利用最適化推進委員で構成されています。

農業委員会の活動例

- ① 農地行政の執行
農地の適正利用に向けた取組み
- ② 地域農業の振興
農地の有効利用に向けた取組み
- ③ 農業者や担い手への支援
農業経営の発展を支援する取組み
- ④ 行政機関への意見提出
農業者や地域の声を聴いて、実現する取組み

どう違う？

農業委員と農地利用最適化推進委員の役割は

項 目	農業委員
主な役割	農業委員会の委員として、農地法に基づく審議・許可や農業委員会の意思決定を行う
主な仕事	農地の売買・貸借・転用などの議案を審議・決定する。
活動範囲	町全体の農業委員会の運営
選出方法	町長が町議会の同意を得て任命

項 目	農地利用最適化推進委員
主な役割	担当地区で農地を無駄なく活用するための現場活動を行う
主な仕事	農地の利用状況の調査や、担い手への農地集積など
活動範囲	担当地区を中心に地域密着で活動
選出方法	応募・推薦の結果に基づき、農業委員会が委嘱

令和8年 第2回世羅町議会定例会（令和8年6月）

○：賛成 ●：反対

議案番号	提出議案	採決	亀田	佐倉	矢山	宗重	佐々木	福永	向谷	上本	松尾	藤井	田原
専決処分の承認			緊急性が高く議会を招集する時間的余裕がない場合等に、行政運営の流れや滞りを防ぐため、町長が議会の議決に代わり意思決定をすること。専決処分したものは町長が次の議会で報告し、承認を求める。										
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（税条例の一部改正）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（国保税条例の一部改正）	原案可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
関連記事			契約・財産取得・条例の一部改正										
議案第32号	工事請負契約の締結について（町道小草縦ノ木線）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	工事請負契約の締結について（中山田橋）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	財産の取得について（ノートパソコン）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
P8 議案第35号	財産の取得について（タブレット）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
P8 議案第36号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
P9 議案第39号	財産の取得について（消防車）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
P9 議案第40号	財産の取得について（ // ）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
P9 議案第41号	財産の取得について（ // ）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度補正予算			3月議会で当初予算が成立した後、国の補助金等の変動や緊急やむを得ない場合などに予算の追加や補正を行うこと。										
P8 議案第37号	令和8年度一般会計補正予算（第1号）	原案可決	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	令和8年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願・陳情			請願陳情とは、町政などについて意見や要望を議会に伝える手段。請願については紹介議員が必要。										
P5 陳情第3号	町道福田福井線道路拡幅について（要望）	不採択	●	●	○	●	○	○	●	●	●	●	●
P5 請願第4号	「尾道」ナンバー導入に関する請願書	採択	●	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○
陳情第5号	公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情	採択	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第6号	東京都新宿区や全国自治体で顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底と早期の実態把握を求める陳情	採択	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○
陳情第7号	憲法9条に自衛隊を書き込み、緊急事態条項を創設する改憲に反対することを求める陳情書	不採択	○	●	○	○	●	●	●	●	○	●	●
陳情第8号	国に非核3原則を守り、その実行を求める陳情書	不採択	●	●	○	●	●	●	○	●	○	●	●
陳情第9号	全国一律最低賃金制の実現と中小企業への支援を求める陳情	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●
陳情第10号	若者も高齢者も安心して老後が暮らせるよう、物価上昇に見合う年金の引き上げを求める陳情書	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●
陳情第11号	誰もがどこに住んでいても、安全・安心の医療・介護の実現を求める陳情書	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●
陳情第12号	学校のすべての教室および体育館へのエアコン設置と小中学校給食費の完全な無償化を求める陳情書	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●
人 事													
P9 同意第4号 ～同意第17号	世羅町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意	無記名投票による表決										
報 告													
報告第1号	令和7年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報 告											
報告第2号	令和7年度国民健康保険事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報 告											
報告第3号	令和7年度介護保険事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報 告											
報告第4号	令和7年度公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報 告											



一般質問

町政を問う

8議員が質問しました

第2回定例会の6月9日・10日に一般質問を行った8議員の質問内容を紹介します。

一般質問とは？

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問といいます。

質問時間は1人30分以内で、答弁時間は含みません。

動画配信は2次元コードを読み取って下さい。



YouTubeチャンネル登録をお願いします。
※視聴環境により、通信料がかかる場合があります。

共生社会

むねしげ ひろゆき
宗重 博之 議員



Q 町は誰と生きるのか—「共生社会」は本気か

A 多様な人々との交流で地域社会の活性化を図る

宗重 外国人住民を単なる「期限付きの労働力」ではなく、未来を共に創る「次世代の町民」としての位置付けは。

町長 地域経済の重要な担い手であり、町民の一員であると認識している。「地域社会に参画いただける大切な方々」と捉えている。

宗重 外国人住民が意思決定の機関に関与する仕組みは。

副町長 公式な諮問機関などへの参画はまだ十分だが、一部の地域活動や産直市では、役員として活動されている例もある。

宗重 災害時における多言語での緊急情報の伝達をどう考えているか。

企画課長 ホームページは多言語対応だが、SNS（LINE）は未対応である。

宗重 伝統行事の担い手不足を解消するため、外国人を「役割を担う側」にするためのガイドラインを示すべきでは。

企画課長 行事は地域の自主運営が不可欠であり、ガイドラインのような画一的な制度は考えていない。担い手不足に対しては、行事の縮減や取捨選択という視点も持ちながら、地域と共に対策を練る。

宗重 外国人や関係人口は歓迎するが、なぜ制度上の位置づけを避けるのか。

副町長 これまで外国人を労働力として捉えてきたが、国の方針が「共生社会」へと転換する中で、本町の将来予測や制度設計はまだ追いついていない。今後の大きな課題として受け止めている。



地域の話し合いに参加する外国人（AIによるイメージ図）

議員コメント

大妻コタカ氏が多くの人々に支えられて学校を築いたように、共生社会もまた、互いを「支え合う担い手」として認め合うことから始まる。外国人住民を労働力ではなく「共に生きる仲間」と捉える視点は欠かせない。



プレコンセプションケア

まつ お よう こ
松尾 陽子 議員



農地保全

かめ だ としひろ
亀田 知宏 議員



Q プレコンセプションケアの取組みを

A チェックシート活用で周知を図る

松 尾 プレコンセプションケアの意義についての見解は。

町 長 プレコンセプションケアは、「妊娠前ケア」を意味する。性別を問わず、性や健康に関する正しい知識を持ち、健康管理や人生設計に取り組むことで、自身と次世代の健康を守り、妊娠・出産から産後までの切れ目ない支援につながる重要な取組みである。

松 尾 プレコンセプションケアの目的は何か。

子育て支援課長 健康な妊娠・出産だけでなく、生涯にわたる心身の健康づくりを目的としている。正しい知識の習得と実践により、自身や家族の健康づくりや、人生の選択肢の拡大につながる。

松 尾 リスクのある妊娠や不妊の増加、性や生殖に関する知識不足を背景に、プレコンセプションケアが不可欠である。若い女性の痩せや肥満は、低体重児の出産や妊娠合併症のリスクを高めるため、これらの正しい知識が必要となる。

成育医療研究センターのプレコンセプションケアチェックシートを、成人式などで配布して周知する考えは。

子育て支援課長 男性用、女性用があるのは認識している。子育て広場や健診会場で手に取れるよう設置したい。



プレコンセプションケア・チェックシート

～もっとすてきな自分に、そして未来の家族のために～

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ☐ 適正体重をキープしよう。 ☐ 禁煙する。受動喫煙を避ける。 ☐ アルコールを控える。妊娠したら禁酒する。 ☐ バランスの良い食事を中心とする。 ☐ 食事とサプリメントから薬を積極的に摂取しよう。 ☐ 1日60分以上からだを動かそう（目安1日8000歩以上）できれば週60分以上の運動や週2-3日の筋トレを！ ☐ ストレスをためこまない。 ☐ よい睡眠をとろう。 ☐ 感染症から自分を守る。（風疹・B型/C型肝炎・性感染症など） ☐ ワクチン接種をしよう。（風疹・インフルエンザなど） ☐ パートナーと一緒に健康管理をしよう。 | <p style="text-align: right;">女性用</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 危険ドラッグを使用しない。 ☐ 有害な薬品を避ける。 ☐ 生活習慣病をチェックしよう。（血圧・糖尿病・検尿など） ☐ がんのチェックをしよう。（乳がん・子宮頸がんなど） ☐ HPVワクチンを接種したか確認しよう。 ☐ かかりつけの婦人科医をつくろう。 ☐ 持病と妊娠について知ろう。（薬の内服についてなど） ☐ 家族の病気を覚えておこう。 ☐ 歯のケアをしよう。 ☐ 計画：将来の妊娠・出産をライフプランとして考えてみよう。 |
|---|--|

詳しくは世羅町ホームページへ ▶



議員コメント

若い時の健康管理のあり方が、妊娠・出産だけでなく、その後の更年期・老年期の健康にも影響します。チェックシートを活用して、自身の健康について考えるきっかけに!!



Q 町の農業は守れるのか

A 新たな研修制度を検討

亀 田 農業法人の連携を含めた経営支援体制および現状に合った施策見直しの進み具合は。

町 長 集落法人経営者協議会において「法人の未来年表」の作成に取り組んでいる。これは、今後の経営継承や人材確保、農地維持などを見据えて、中長期的な経営課題を“見える化”する取組みである。将来、法人経営の中心を担う人材育成を想定した、新たな研修制度の検討も進めている。

亀 田 中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払交付金は、高齢化により申請が困難になる組織が増えてくると予測できるが、支援の考えは。

産業振興課長 事務負担が大きく継続が難しい組織があると認識している。全国的にも問題になっており、国・県でも事務の簡素化は話題になっている。窓口である県には話をしているが、明確な返答はまだない。

亀 田 町外企業の農業参入が増えてきているが、町はどう受け止めているのか。

産業振興課長 地域と連携しながら継続的に農業経営を行い、雇用の創出や農地保全につながる取組みを期待している。企業参入は地域との信頼関係を築きながら、しっかりと地域に定着していただくことが重要である。

亀 田 町内の他業種の事業者に営農を勧める考えは。

産業振興課長 異業種参入は歓迎している。興味を示しているという情報があれば、情報提供しながら参入を進めていきたい。

議員コメント

世羅町の農地を守っていくためにも、既存の施策にとらわれず、中長期的な視点での取組みを進めていただきたい。新たな挑戦を期待しています。



せらケーブルねっと

ふくなが たかひろ
福永 貴弘 議員



Q セラケーブルねっとの現状と課題は

A 情報発信の多角化を研究していく

福永 「セラケーブルねっと」は地デジ難視対策として整備され、現在も重要な情報インフラである。しかしテレビ離れや動画配信サービスの普及など、環境は大きく変化している。現在の契約状況と、テレビを契約していない約35%の町民への情報発信をどう考えるか。

企画課長 令和8年3月末時点のテレビの加入率は約65%、インターネットのみを含めると約80%。町の情報は広報誌・ホームページ・LINE・無線放送で周知している。

福永 他地域のケーブルテレビ事業者は、専用ホームページやSNSで情報発信しているが、世羅町は全て未整備である。今後の維持発展に向け、①情報発信のDX化、②地域密着コンテンツのエンタメ化、③民間広告の導入による財源確保、この3つの戦略に踏み出すべきではないか。

企画課長 既存のMCATのホームページ内への掲載や、番組紹介の発信を検討したい。動画コンテンツの充実も模索していく。民間広告は公共性・公平性の面など課題があり、今後も研究していく。

福永 「セラケーブルねっと」が、町内外へ広く情報を発信し、災害時には地域の情報拠点となり、町の笑顔をつなぐメディアへ進化することを強く要望する。

町長 デジタル化は始まったばかりだが、少しでも実現できるよう取組んでいきたい。

事業者名	初期費用 (加入金+標準工事費)	標準プラン (テレビ+インターネット)
せらケーブルねっと	55,000円	5,060円
(株)MCAT	33,000円 (+工事費)	7,370円
神石島原かがやきネット	50,000円 (+工事費)	8,470円
(株)ちゅびCOM	3,300円 (※TV+ネット+電話加入が条件)	5,280円
(株)東広島ケーブルメディア	45,100円	7,040円
(株)三次ケーブルビジョン	69,300円	4,950円
(株)たけはらケーブルネットワーク	66,000円 (※特設キャンペーンあり)	5,500円

出典：各事業者ホームページ掲載内容より

議員コメント

セラケーブルねっとが時代に即した情報発信へ進化し、町内外へ世羅の魅力を届けるメディアとなることを期待します。

道路の雑草

むかいだに しんじ
向谷 伸二 議員



Q 道路縁石付近の土砂撤去提案に対する検討状況は

A 県にも要望し土砂撤去に努める

向谷 土砂撤去の取組み状況は。

町長 町道については、交通量の多い幹線道路から優先的に土砂撤去を実施している。国道・県道については、国道432号、主要地方道世羅甲田線、町道三原中島線を県と合同で状況確認し、一部区間で土砂撤去を行った。令和8年度も、町道世羅中央線および町道安田賀茂線で土砂撤去を予定している。

向谷 更に増やすべきではないか。

建設課長 本年度よりも事業を拡充していきたい。

向谷 長期的視点で考える必要があるのではないか。

建設課長 県では、利用者の安全確保や景観の維持という観点から、定期的な除草や草の繁茂を抑制する取組み、倒木などへの対応について計画を策定中と聞いている。その中で、定期的な路面清掃も検討されている。町道に関しては路線数が非常に多く、土砂堆積の状況もそれぞれ異なるため、今後必要箇所を中心に対応していきたい。

向谷 土砂撤去と路面清掃車を組み合わせることで、草刈り作業の負担軽減につながるのではないか。

建設課長 県が策定中の計画では、町が委託を受けている路線も、路面清掃の対象に含まれる可能性がある。そうなれば、それに見合った予算配分が受けられると考えている。



縁石に溜まった土砂や雑草で景観が悪化

議員コメント

土砂撤去を基本とした、雑草対策を着実に進めていただきたい。県に対してもしっかりと要望を伝え、連携・協力しながら道路環境の改善と景観整備に取り組んでいただきたい。



介護の担い手確保

やま 靖 議員



Q ケアマネジャー不足の対策は

A 現場の声を聞き効果的な施策を検討

矢山 シャドーワークの実態把握と対応策は。

福祉課長 買い物や食事の準備など、実態は把握している。さまざまなサービスの活用で、シャドーワークの解消につながるよう取組む。

矢山 人材流出と将来見通しは。

福祉課長 今後10年以内には、ケアマネジャーの担い手は急激に減少していくことが見込まれる。幅広い世代に対する人材確保・定着支援に向けた取組みを実施していくことが、重要と考えている。

矢山 就労・定着までを見据えた人材確保戦略は。

福祉課長 2040年問題を見据え、福祉教育との連携は必須と考える。福祉職の社会的価値の向上とあわせ、福祉教育への支援と環境の整備について、協議・検討を進める。

矢山 現在の施策で将来の担い手不足に対応できるのか。

福祉課長 現在の取組みで充足しているとは考えていない。

矢山 町として主体的にどう動くのか。

町長 現場の声をしっかりと聞き、できる限り効果的な施策と支援を検討し、成果として今後の人材確保につなげていきたい。

Q 訪問介護の担い手不足の対応は

A 介護人材不足を補う戦略を策定予定

矢山 訪問介護の人材不足に対する認識は。

福祉課長 今後、町内の訪問介護事業所の閉鎖や慢性的なヘルパー不足により、利用者への対応が困難になる可能性がある。

矢山 就労・定着までを見据えた介護人材確保の全体戦略は。

副町長 人材不足は、喫緊の課題である。小中学校での福祉教育や、高校への資格取得支援を、福祉現場とつなぎあわせ、就労支援に取組む。

矢山 在宅介護体制の持続に向け、より踏み込んだ対策が必要では。

町長 幅広い意見を聞きながら、町としても取組みを進めていきたい。

議員コメント

介護難民を発生させないためにも、現場の声をしっかり聞き、将来を見据えた実効性ある対策が必要ではないか。

消防団活動

さくら ゆう き 議員



Q 消防団活動のより良い環境づくりを

A 消防団とともに前向きな検討を進めたい

佐倉 若年層の参加促進に向け、消防車両のAT車への更新が必要では。

町長 今年度からAT車で四輪駆動の車両が調達可能となり、AT車で発注を行っている。

佐倉 消防車両更新の費用負担は適切か。町としてどう精査しているか。

総務課長 必要最小限の仕様となるよう精査し、入札手続で透明性の確保に努めている。

佐倉 ポンプ操法大会は、他自治体アンケートで7割以上が負担と回答している。見直しが必要では。

総務課長 開催間隔を2年毎から4年毎に延長して実施することとしている。

佐倉 出初式・夜警の縮小や代替方法の検討が必要では。

総務課長 出初式の団員アンケートを実施し、式典時間の短縮を行った。

佐倉 出初式には約100万円の報酬が支出される一方、夜警には報酬がないが。

総務課長 夜警は部の運営費に含む取扱いとしている。今後、報酬の整合性も検討していく。

佐倉 訓練の様子を撮影し、復習用の動画として活用するなど、デジタル化で負担軽減を図れないか。

総務課長 本部会議で他事例を参考に研究・協議を進めたい。

佐倉 出動連絡や位置情報共有のデジタル化を、町から消防団へ提案しては。

総務課長 近隣市町の導入事例を調査・研究し、仕組みづくりを進めたい。

佐倉 操法大会や行事のあり方、入団に踏み出せない理由について、団員および町民へアンケートを実施してはどうか。

総務課長 消防団本部と協議し、アンケートの実施を検討したい。



画像はイメージです

AT車に更新される消防車両

議員コメント

消防団活動の改善を団の内部だけに委ねず、町も一緒に考えていく姿勢が大切。アンケートで団員や入団前の町民の思いをくみ取り、環境づくりにつなげてほしい。



町民所得向上

さ さ き ひろみち
佐々木 浩康 議員



Q 物価上昇に見合う所得水準の確保は

A 価格転嫁の促進と省力化投資を推進

佐々木 止まらない物価上昇の中、地方の賃金上昇は全く追いついていない。町民が世羅町で安心して暮らせる所得水準をどう確保していくのか。

町 長 原価上昇に伴う利益率の低下を回避し、企業内での継続的な賃上げが可能となる環境整備が重要である。原材料費や労務費などの上昇分を、適切に価格転嫁できる取引環境の構築に向け、国・県・商工会などと連携し、価格転嫁の促進や業務改善助成金など、各種支援制度の周知・活用に向けた伴走支援に努める。

佐々木 欧州では安易な労働力の補填に頼ったため、お金を払ってでも移民に帰国してもらわなければならない状況にある。

人手不足対策として、外国人労働者など外部人材の確保に頼るより、省力化投資・生産性の向上・賃上げ支援を優先すべきと考えるが、町の見解は。

商工観光課長 外部労働力にのみ過度に依存する状態は、中長期的に地域経済の持続可能性に課題を残すものと認識している。IT・デジタル技術の導入による省力化投資や、生産性の向上を優先的に進め、限られた人材で効率的に付加価値を生み出す体制への転換を図ることが重要である。

佐々木 若者の地域定着に向けて、世羅で働くことで安定した生活設計が可能となる賃金水準を、どのように実現していくのか。

商工観光課長 企業の生産性向上による収益拡大を、賃金に反映できる仕組みづくりを支援し、ワークライフバランスの推進や福利厚生充実など、若者が「ここで働きたい」と思える職場環境の整備を促進する。

世羅町商工会支援メニュー

持続化支援事業 / 販路拡大支援事業 / 世羅町預託融資制度
など各種支援、補助金があります。

詳しくは、世羅町商工会

Tel 0847-22-0529 fax 0847-22-3415

議員コメント

アリストテレス「ニコマコス倫理学」の中庸の精神のとおり、過度な依存にも現状維持にも偏らない、バランスの取れた持続可能な地域経済政策の推進を求める。

町への ひとこと

世羅町商工会

たまうら ひろあき

会長 玉浦 洋明 さん



商工会と町が力を合わせ、世羅を元気に

世羅町の発展には、フライトロードを世羅インターまで早期に延伸することや、道の駅世羅のさらなる充実が大切だと思っています。

世羅町は、とくとか商品券事業、町の預託事業制度など、商工会との連携が非常に良く、今後も力を合わせて地域を盛り上げていきたいと考えています。

青年部では空き家活用など新たな挑戦も始まります。課題はありますが、商工会も地域の未来を見据え、できることを積極的に進めていきたいと思っています。

思いやり 発見!



津名自治センターに「思いやりスペース」を設置しました。車椅子をご利用の方など、移動が困難な方は、雨天・降雪時に短時間、軒下スペースをご利用いただけます。

※普段は駐車禁止です。専用駐車場をご利用ください。

議会広報にご意見をお寄せください。

- 今号でよかった内容
- 取り上げてほしい内容
- 議会広報に対する意見・感想

✉ gikai@town.sera.hiroshima.jp

11月22日(日)、23日(月・祝)開催の 「大妻コタカ物語」開演に向けて

暑さに負けず けいこ中!!

「演劇で人づくり」せら実行委員会

経験の有無を問わず、多くの仲間たちが集まりました。稽古はもう始まっています。

子どもが大人から学び、大人も子どもの姿に刺激を受ける。そんな世代を超えた交流が、人を育て、地域のつながりを深めていきます。この舞台を動かしているのは、一人ひとりの「やってみよう」という熱い想い。

この町でしか生まれない物語を、心を込めてお届けします。

応援よろしくお願いします。

〔会場〕せら文化センター



揃いのTシャツで公演をアピール!



緊張気味の歌練習♪



「やってみよう」と意気込む出演予定のみなさん

※世羅町元気な地域づくり応援事業プロジェクト認定

議会を 傍聴しませんか



役場2階
議場前にて
傍聴人受付表に
氏名などを記入



受付表の提出



議場へ入場
※入退場自由/定員28人
※車いす用リフトあります。

9月議会

令和8年第3回定例会 (予定) ※日程は変更になる場合があります

日	月	火	水	木	金	土
8/30	31	9/1	2	3 本会議 (一般質問)	4 本会議 (一般質問)	5
6	7 本会議 (議案審議)	8 予備日	9 総務文教常任委員会	10 産業建設常任委員会	11 議会改革調査特別委員会 議会広報広聴常任委員会	12
13	14 決算審査特別委員会	15 決算審査特別委員会	16 決算審査特別委員会	17 予備日	18 本会議 (最終日)	19

※開会は午前9時からの予定です。

YouTubeでライブ配信をしています。ぜひご覧ください。

議会広報広聴常任委員会

委員長 向谷 伸二 副委員長 松尾 陽子
委員 亀田 知宏・佐倉 悠希・矢山 靖・佐々木浩康

世羅町議会ホームページ

右の2次元コードを読み取ってアクセスしてください



議会だより せら
【6月定例会】

■発行責任者/世羅町議会議長 高橋 公時 ■編集/議会広報広聴常任委員会
■事務局/広島県世羅郡世羅町大字西上原123番地1 ☎0847-22-4511 FAX0847-22-1154
メールアドレス gikai@town.sera.hiroshima.jp